

正式名称	社会福祉法人 はばたき福祉事業団本部事務所 はばたきライブラリー
場所、アクセス	<p>東京都新宿区小川町 9-20 新小川町ビル 4 階</p>   <p>JR 飯田橋駅東口下車または地下鉄 B 1、C 1 出口より徒歩約 8 分</p>
通常利用可能なメニュー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4 F はばたきライブラリーは、H I V 訴訟の記録、薬害エイズ・血友病等の図書、資料等を収集、保存を目的に開設。収集資料は、分類・整理の上、閲覧に供するとともに可能な範囲で「バーチャル資料館」としてホームページ上で公開。</li> </ul> <p><a href="http://habataki-fukushi.jp/library/index.html">http://habataki-fukushi.jp/library/index.html</a></p>
ここがお勧め！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ H I V ・血友病・肝炎など薬害を中心とした図書や資料等の充実。</li> <li>・ 他薬害関連資料の充実</li> </ul>
訪問時のプログラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬害エイズに関するドキュメント映像資料の視聴と解説資料による薬害エイズ裁判と被害についての詳細説明。</li> </ul> <p>タイトル「人間の尊厳をかけて薬害エイズ 10 年のたたかい」約 40 分</p> <p>※血友病患者 5,000 人の必要な薬「血液凝固因子剤」に、アメリカから輸入した非加熱血液製剤を使用。混入していたエイズウィルスにより、うち 2,000 人が感染し、次々と発症してしまった。人間の尊厳をかけて、感染被害者の救済と国や製薬会社への責任を求めて、10 年にわたる訴訟から和解への道のり、未来への薬害根絶へのたたかいがはじまった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薬害根絶「誓いの碑」</li> </ul> <p>国はこの薬害エイズ事件をきっかけに、医薬品への安全性・有効性の確保に最善の努力を重ねる誓いをたてた。</p>



場所：厚生労働省合同庁舎前庭

- ・ 事業団理事長（もと血友病患者団体会長）、事務局次長との懇談  
※H I V訴訟から和解の原動力となった故草伏村生氏の話。自らの体験談や思いを拝聴。薬害によるH I V感染、発症で身体だけでは無く、不当な差別を受け、訴訟時にも匿名にするしかなかった方々の心の辛さや苦しみ、人間の尊厳を失わせる大きな薬害事件であり、二度と起こしてはならない。  
※薬剤・医療でのリスクセンスとは何か？  
タミフルによる事件や鳥インフルエンザによる死亡事例など、予防接種や治療の薬剤使用で、本来安全であるべき薬剤が、副作用などの危険性を含むグレーゾーンが確認もされないまま、使用や販売を優先されてしまうことは問題がある。
- ・ 薬害エイズに関する患者手記、日記、手紙、新聞資料、裁判記録などの閲覧。